
係り結びとは？

文の途中に特定の助詞（係助詞）があると、
文末の活用形が変わるルールのことです。

5つの「係助詞」



ぞ

強意



なむ

強意



や

疑問
反語



か

疑問
反語



こそ

強意

結びは連体形になる

結びは已然形になる

例文①：「ぞ」・「なむ」・「こそ」（強意）

係助詞なし

山里 寂し。

※文末は終止形 “寂し”

係助詞あり

山里ぞ 寂しかる。

山里なむ 寂しかる。

※文末は連体形 “しかる “

山里こそ 寂しけれ。

※文末は已然形 “しけれ “

例文②：「や」・「か」（疑問・反語）

係助詞なし

山里 寂し。

※文末は終止形 “寂し”

係助詞あり

山里や 寂しかる。

山里か 寂しかる。

※文末は連体形 “しかる”

係り結びは、

書き手の

『強調したい』『問いかけてたい』という

『心の声』を読み解くカギです。